

「保健講話」を行いました

10月1日(木)、岩砂病院・岩砂マタニティの岩砂眞一先生を講師にお招きし、「産婦人科医から高校生のみんなへ “知識”という武器を持とう！」をテーマに保健講話を行いました。

講話では、男女の違いについて話をされ、女性については月経周期や2週間でホルモンの変化があること、月経痛が辛い時は我慢なくてよいこと、妊娠の仕組みなどについて、産婦人科医の立場からわかりやすくお話をいただきました。

また、「人は死ぬためじゃなく生きるために生まれてきた」というメッセージや、「君たちは奇跡の人、選ばれし人」と1,800億分の1の確率で生まれていること、みんなの両親、その両親、とひとつでもピースが足りなかったら生まれることはできなかったのだよという言葉をとおして、生命の大切さについて考える機会となりました。

さらに、性感染症や HIV、AIDS、子宮がん、望まない妊娠を防ぐ方法や、相手の気持ちを尊重することなど、正しい知識をもって行動してほしいと締めくくられました。

講話後の生徒アンケートからは、「異性との関係にあたって、幸せのために性感染症対策や避妊は正しく行い、相手の気持ちを理解しようとするのを大切にしたい。」「ちょうど保健や家庭科の授業で習ったところを再確認できた。」「正しい知識が人生の選択を左右することもある。医療機関や保健室、親に相談したい。」などの感想があり、今回の講話をとおして、生徒一人ひとりが自分の健康やこれからの人生について考えを深めることができました。

